

明 細 書

発明の名称：注出スパウト

技術分野

[0001] 本発明は、注出スパウトに関し、さらに詳しくは、内容物を所定の包装容器に注入するために内容物を収容している詰め替え容器を構成するための注出スパウトに関する。

背景技術

[0002] 包装容器の中には、別途に設けられた詰め替え容器から内容物を注入し、繰り返し利用するものがある。詰め替え容器は、袋本体部と、この袋本体部に取り付けられた注出スパウトとを備えている。注出スパウトは内容物を袋本体部から注出させて包装容器に注入させる構成部である。本件特許出願人は、詰め替え容器を構成する、上記の注出スパウトについて種々提案している。

[0003] 特許文献1で提案している注出スパウトは、本件特許出願人が提案しているものである。この注出スパウトは、注出スパウトから内容物を注出する流路を開閉可能にしている閉鎖部材を備えたものである。具体的に、この注出スパウトは、注出スパウトの本体と流路を閉鎖するための構成体が一体に形成されている。閉鎖するための構成体は、流路の外側をなす一端側に設けられており、一端側で流路を開閉している。閉鎖部材は、袋本体側から加えられる外力によって流路から取り外される形態で流路の一端側の内周面に水平をなしてはめ込まれている。閉鎖部材は、紐状又は帯状の連結部材によって、注出スパウトにつながれている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特許第6236139号

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 本件特許出願人は、上述した特許文献1に記載の注出スパウトを提案した後も鋭意注出スパウトについて研究を進めてきた。その結果、詰め替え容器を構成する袋本体部に貼り合わされるスパウト本体と、スパウト本体とは別体として構成し、スパウト本体に形成された流路を開閉する閉鎖ユニットと、によって構成する注出スパウトを発明した。閉鎖ユニットは、流路を開閉する閉鎖部材と、閉鎖ユニットをスパウト本体に着脱可能に取り付ける取り付け部と、閉鎖部材と取り付け部をつなぐ連結部材とで構成される。こうした注出スパウトでは、詰め替え容器から内容物を包装容器に移し替えている間、閉鎖部材が流路を閉鎖することなく開いた状態が維持されることが必要である。

[0006] 本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、その目的は、内容物を移し替えている間、閉鎖部材が開いた状態が維持される注出スパウトを提供することにある。

課題を解決するための手段

[0007] 上記課題を解決するための本発明に係る注出スパウトは、詰め替え容器に設けられ、前記詰め替え容器に収容された内容物を包装容器に注出するための注出スパウトであって、前記注出スパウトは、スパウト本体と閉鎖ユニットとを備え、前記スパウト本体は、前記詰め替え容器を構成する袋本体部に貼り合わされる被貼り合わせ部と、前記内容物を注出する筒状部と、前記内容物を前記詰め替え容器の内部から外部に通すための流路とを、少なくとも備え、前記閉鎖ユニットは、前記流路に対して開閉自在な閉鎖部材と、前記スパウト本体に前記閉鎖ユニットを着脱可能に取り付ける取り付け部と、前記閉鎖部材と前記取り付け部をつなぐ連結部材とを有し、前記スパウト本体には、前記取り付け部が着脱可能に取り付けられる被取り付け部が形成され、前記包装容器は、容器本体と、前記容器本体に収容された内容物を注出するための注出ユニットと、を備え、前記注出ユニットは、内容物を注出するノズルを少なくとも有し、前記連結部材は、前記閉鎖部材の前記取り付け部側であって、前記閉鎖部材が前記流路を閉鎖している形態において、前記袋

本体側に向けられた第1面と、前記取り付け部材と、を連結し、前記閉鎖部材は、前記閉鎖部材の前記取り付け部側であって、前記第1面とは反対側の第2面における前記連結部材が、前記閉鎖部材に連結された部位に対応する一定領域が前記ノズルにより支持されることによって、前記閉鎖部材が前記被貼り合わせ部の前記袋本体部側の端面とのなす角度が90度よりも小さく保持される、ことを特徴とする。

[0008] この発明によれば、上述した構成を備えた注出スパウトにおいて、閉鎖部材は、閉鎖部材の取り付け部側であって、連結部材が閉鎖部材に連結された部位に対応する、第1面とは反対側の第2面における連結部材が閉鎖部材に連結された部位に対応する一定領域がノズルにより支持することによって、閉鎖部材が被貼り合わせ部の袋本体部側の端面とのなす角度が90度よりも小さい形態に保持される。閉鎖部材がノズルにより保持されるので、内容物を移し替えている間、閉鎖部材が開いた状態が維持される。

[0009] 本発明に係る注出スパウトにおいて、前記閉鎖部材が前記ノズルによって押し上げられて前記流路を開いた形態において、前記連結部材の長さが、前記第2面を前記ノズルの外周面に接触させることが可能な範囲内に形成されている。

[0010] この発明によれば、連結部材の長さが、第2面をノズルの外周面に接触させることが可能な範囲内に形成されているので、閉鎖部材が流路を開放した形態において、閉鎖部材における連結部材が連結された部位に対応する一定領域が、ノズルの先端よりも袋本体部の内側に移動することがない。そのため、閉鎖部材は確実にノズルに接触し、閉鎖部材の開いた形態がノズルにより保持される。

[0011] 本発明に係る注出スパウトにおいて、前記連結部材は、前記連結部材接続部から前記閉鎖部材に向かって延びる第1構成部と、前記第1構成部に対して屈曲し、前記第1構成部の先端から前記第1面に向かって延びる第2構成部とで構成され、前記連結部材は、前記閉鎖部材を前記ノズル側に向かって付勢する付勢力を有する。

[0012] この発明によれば、上述したように、連結部材が第1構成部と第2構成部とで構成され、連結部が閉鎖部材をノズル側に向かって付勢する付勢力を有するので、開かれた形態の閉鎖部材は、連結部材とノズルとで挟み込まれた状態になり、閉鎖部材の開かれた形態が維持される。

[0013] 本発明に係る注出スパウトにおいて、前記被取り付け部には、前記閉鎖部材側に向かって張り出す連結部材接続部が形成され、前記連結部材における長手方向の一端が前記連結部材接続部に接続され、他端が前記閉鎖部材における前記第1面に接続されている。

[0014] この発明によれば、被取り付け部には、閉鎖部材側に向かって張り出す連結部材接続部が形成され、連結部材における長手方向の一端が連結部材接続部に接続され、他端が閉鎖部材における第1面に接続されているので、連結部材接続部が連結部材に付勢力を与えることができる。その結果、連結部材とノズルとが閉鎖部材を挟み込み、閉鎖部材を開いた形態に維持することができる。

発明の効果

[0015] 本発明によれば、内容物を移し替えている間、閉鎖部材が開いた状態が維持され、且つ移し替えが終わった後、流路を速やかに閉鎖する機能を有する注出スパウトを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]本発明に係る注出スパウトを使用した詰め替え容器の一例を示す平面図である。

[図2]本発明に係る注出スパウトがスパウト本体と閉鎖ユニットとを分かれた形態で示す側面図である。

[図3]本発明に係る注出スパウトがスパウト本体と閉鎖ユニットと一体化した形態を示す側面図である。

[図4]本発明に係る注出スパウトを第2面側からみた平面図である。

[図5]注出スパウトにおいて、閉鎖部材が開いた形態を説明するための説明図である。

[図6]包装容器の一例を示す側面図である。

[図7]包装容器に用いられている注出ユニットの斜視図である。

[図8]本発明に係る注出スパウトの作用を説明するための説明図である。

発明を実施するための形態

[0017] 以下、図面を参照しつつ、本発明の実施形態について説明する。本発明は、以下に説明する実施形態及び図面に記載した形態と同じ技術的思想の発明を含むものであり、本発明の技術的範囲は実施形態の記載や図面の記載のみに限定されるものでない。

[0018] [基本構成]

本発明は、詰め替え容器 1 に收容された内容物を注出するために詰め替え容器 1 に設けられた注出スパウト 10 である。注出スパウト 10 は、スパウト本体 10A と、閉鎖ユニット 20 とで主に構成されている。スパウト本体 10A は、被貼り合わせ部 15、筒状部 11、及び流路 18 を少なくとも備えている。被貼り合わせ部 15 は、詰め替え容器 1 を構成する袋本体部 5 に貼り合わされる部位である。筒状部 11 は、内容物を注出するための構成要素である。流路 18 は、内容物を詰め替え容器 1 の内部から外部に通すための構成要素である。

[0019] 閉鎖ユニット 20 は、流路 18 を開閉する構成体である。閉鎖ユニット 20 は、閉鎖部材 21、取り付け部 24、及び連結部材 23 により構成されている。閉鎖部材 21 は、流路 18 に対して開閉自在であって、流路 18 を閉鎖したり開放したりするための構成要素である。取り付け部 24 は、スパウト本体 10A に閉鎖ユニット 20 を着脱可能に取り付けるための構成要素である。連結部材 23 は、閉鎖部材 21 と取り付け部 24 をつなぐための構成要素であり、閉鎖部材 21 の取り付け部 24 側であって、閉鎖部材 21 が流路 18 を閉鎖している形態において、袋本体側に向けられた第 1 面と取り付け部材とを連結している。また、スパウト本体 10A には、取り付け部 24 が着脱可能に取り付けられる被取り付け部 40 が形成されている。

[0020] 包装容器 50 は、容器本体 51 と、容器本体 51 に收容された内容物を注

出するための注出ユニット５５と、を備え、注出ユニット５５は、内容物を注出するノズル５８を少なくとも有している。ノズル５８は、閉鎖部材２１の取り付け部２４側であって、第１面とは反対側の第２面における連結部材２３が閉鎖部材２１に連結された部位に対応する一定領域を支持する。ノズル５８がこのように閉鎖部材２１を支持することによって、閉鎖部材２１が被貼り合わせ部１５の袋本体部５側の端面とのなす角度が９０度よりも小さい形態に保持される。

[0021] 本発明によれば、内容物を移し替えている間、閉鎖部材２１が開いた状態が維持され、且つ移し替えが終わった後、流路１８を速やかに閉鎖する機能を有する注出スパウト１０を提供できるという特徴的な効果を奏する。

[0022] 以下、注出スパウト１０が用いられる詰め替え容器１の概要、包装容器５０の概要、注出スパウト１０の具体的な構成、詰め替え容器１から内容物が補充される包装容器５０の概要、及び注出スパウト１０の作用について説明する。

[0023] [詰め替え容器]

本発明に係る注出スパウト１０が用いられる詰め替え容器１は、この詰め替え容器１とは別に使用される包装容器５０に内容物を充填したり、補充したりするための容器である。詰め替え容器１の形態や種類は特に限定されない。図１には、詰め替え容器１の一例としてのスタンディングパウチを示している。この詰め替え容器１は、対向する一对の平面部２と、詰め替え容器１の底部を閉じている底面部３と、本発明に係る注出スパウト１０と、を有している。

[0024] 平面部２は、上端縁同士がシールされると共に、両側端縁同士がシールされている。一对の平面部２の下端縁は、底面部３における各平面部２の下端縁に対向する端縁部にそれぞれシールされている。底面部３は、中心の折目４で二つ折りされており、折目４が詰め替え容器１の上側に向かって折り込まれている。底面部３は、折り込まれた形態から詰め替え容器１の平面部２が配置されている方向に広げられることによって、詰め替え容器１の底部を

広げることができるように構成されている。

[0025] 本発明に係る注出スパウト１０は、詰め替え容器１の上端縁に取り付けられている。注出スパウト１０は、スパウト本体１０Ａと、閉鎖ユニット２０とで主に構成されている。スパウト本体１０Ａは、上述したように、被貼り合わせ部１５、筒状部１１、及び流路１８を有している。なお、図１に示した実施形態では、注出スパウト１０が詰め替え容器１の上部中央に取り付けられた形態を一例として取り上げている。ただし、特に図面には示していないが、注出スパウト１０が詰め替え容器１の上部において、幅方向の側方になずれた位置に設けてもよい。また、詰め替え容器１に上端縁と側端縁とが斜めに傾斜する傾斜部により連絡された部位を設け、傾斜部に注出スパウト１０を取り付けてもよい。

[0026] 詰め替え容器１から内容物を包装容器５０に移し替える場合には、注出スパウト１０を閉じているキャップ６を取り外し、詰め替え容器１の上下を逆さまにする。そして、注出スパウト１０を包装容器５０の注出ユニット５５に突き刺して、詰め替え容器１から内容物を包装容器５０に直接移し替える。なお、この作用は、後ほど詳細に説明する。

[0027] [注出スパウト]

注出スパウト１０は、二つの構成部材から構成されている。１つは、スパウト本体１０Ａであり、もう一つは、閉鎖ユニット２０である。

[0028] 〈スパウト本体〉

スパウト本体１０Ａは、図２～図４に示すように、被貼り合わせ部１５、筒状部１１、及び流路１８を少なくとも備えている。スパウト本体１０Ａにおける被貼り合わせ部１５と筒状部１１との境目の位置には、図４に示すように、長方形又は略長方形をなすフランジ部１５Ａが設けられている。

[0029] (被貼り合わせ部)

被貼り合わせ部１５は、詰め替え容器１に貼り合わされる部位である。この被貼り合わせ部１５は、外形が舟形をなしている。すなわち、図２～図４において、被貼り合わせ部１５の両側面は、Ｘ方向の中心部でＹ方向に半円

状に張り出す張り出し部 16 を有している。これに対し X 方向の両端部は、両端側に向かって先細りをなし、両側面が X 方向の両端部で接続されている。また、被貼り合わせ部 15 には、X 方向に延びる複数の突出部 17 が形成されている。

[0030] (筒状部)

筒状部 11 は、詰め替え容器 1 の内部に收容されている内容物を注出するための注出口として機能する。筒状部 11 は、円筒状又は略円筒状に形成されている。筒状部 11 の外周には、キャップ 6 をねじ込むためのねじ山 12 が形成されている。

[0031] (流路)

流路 18 は、内周の形状が円形をなしていて、図 2 及び図 3 の破線で示すように、筒状部 11 の外側に位置する一端部 A 側と被貼り合わせ部 15 における詰め替え容器 1 の内側をなす他端部 B とを貫いている。そのため、流路 18 は、詰め替え容器 1 の内側と外側とを連通させることができるように構成されている。流路 18 における被貼り合わせ部 15 における詰め替え容器 1 の内側をなす他端部 B には、閉鎖部材 21 の外周部を係り合わせるための溝が形成されている。閉鎖部材 21 間は、その外周部がこの溝に係り合わされることによって流路 18 を閉鎖する。

[0032] 流路 18 の内周面には、ガイド 19 が形成されている。ガイド 19 は、包装容器 50 の注出ユニット 55 を構成するノズル 58 を筒状部 11 の先端から奥に向けて案内する。ガイド 19 は、流路 18 の内周面から中心に向けて突出しており、筒状部 11 が延びる方向 L と同一の方向に延びるようにして形成されている。ガイド 19 の断面の形状は、ノズル 58 を案内することができる形状であれば特に限定されない。

[0033] (被取り付け部)

被取り付け部 40 は、被貼り合わせ部 15 において、詰め替え容器 1 の袋本体部 5 側に形成されている。この被取り付け部 40 は、閉鎖ユニット 20 の取り付け部 24 が取り付けられる部位である。被取り付け部 40 は、流路

18の外側に形成された孔である。被取り付け部40は、図2及び図3に示すように、取り付け部24を構成しているアーム26が挿入される孔と、この孔の内側に向かって張り出し、アーム26の先端に形成されている爪27が係り合わされる係合部とで構成されている。以下、係合部を第1孔41、アーム26が挿入される孔を第2孔42として説明する。被取り付け部40は、袋本体部5側の端面から一定の深さの位置に形成された幅の小さな第1孔41と、第1孔41の奥に形成された幅の大きな第2孔42とで構成されている。第1孔41と第2孔42との境界部には、肩部43が設けられている。肩部43は、後に詳細を説明するように、取り付け部24に設けられた爪27が係り合わされる部位である。

[0034] 上述したスパウト本体10Aは、下記の閉鎖ユニット20とは別の構成部品であるため、スパウト本体10Aを射出成形等により製造する場合、樹脂を型の隅々まで短時間で供給でき、短時間で成形することができる。また、注出スパウト10はスパウト本体10Aと閉鎖ユニット20とが別体であるので、型の隅々まで樹脂を供給することができ、高い品質のスパウト本体10Aを製造することができる。

[0035] 〈閉鎖ユニット〉

閉鎖ユニット20は、スパウト本体10Aに形成されている流路18を閉鎖したり、開放したりするための構成体である。閉鎖ユニット20は、閉鎖部材21と、取り付け部24と、連結部材23とにより構成されている。

[0036] (閉鎖部材)

閉鎖部材21は、スパウト本体10Aの流路18を開閉できるように構成されている。閉鎖部材21は、流路18の内周部の形状と同形又はほぼ同形に形成されており、流路18の内側、具体的は溝にはめ込まれることにより、流路18を閉鎖する。閉鎖部材21の外周部は、図2及び図3に示すように、厚さ方向の中間部が、一面側(他端部B側)及び他面側(一端部A側)に比べ、径方向の外側に向かって突出していて、流路18に形成された溝に係り合わせやすくなっている。上述したように、流路18の内周には溝が形成

されていて、閉鎖部材 2 1 の外周部が流路 1 8 の溝に係り合わされることにより、閉鎖部材 2 1 が流路 1 8 を閉鎖する。一方、流路 1 8 を閉鎖している閉鎖部材 2 1 に、一面側（他端部 B 側）から他面側（一端部 A 側）に向かう外力が与えられると、閉鎖部材 2 1 の外周部が流路 1 8 の溝から外れる。その際、閉鎖部材 2 1 の外周部は詰め替え容器 1 の外側に向かって先細りとなるテーパ状に形成されているので、閉鎖部材 2 1 は溝から円滑に外される。外周部が溝から外れた結果、閉鎖部材 2 1 が流路 1 8 から取り外され、流路 1 8 が開放される。

[0037] 閉鎖部材 2 1 の他面側（一端部 A 側）には第 1 突起部 2 2 が形成されている。具体的に、第 1 突起部 2 2 は、閉鎖部材 2 1 の他面側（一端部 A 側）における、取り付け部 2 4 と対角をなす位置に設けられている。この第 1 突起部 2 2 は、必要に応じて設けられる構成部である。第 1 突起部 2 2 は、注出スパウト 1 0 を製造する際に、後述するように、閉鎖ユニット 2 0 をスパウト本体 1 0 A に供給する際に利用される。

[0038] （取り付け部）

取り付け部 2 4 は、閉鎖ユニット 2 0 をスパウト本体 1 0 A に取り付けるための構成部である。取り付け部 2 4 は、図 2 の上部に示すように、胴部 2 5 と、胴部 2 5 から下側に延びる 1 対のアーム 2 6 と、胴部 2 5 の上側に突出する第 2 突起部 2 9 とで構成されている。第 2 突起部 2 9 は、第 1 突起部 2 2 と同様に、注出スパウト 1 0 を製造する際に、閉鎖ユニット 2 0 をスパウト本体 1 0 A に供給する際に利用される。

[0039] 胴部 2 5 の内部にはスリット 3 0, 3 1, 3 2 が形成されている。スリット 3 0, 3 1, 3 2 は取り付け部 2 4 の上下方向延びる直線状の直線スリット 3 0 と、直線スリット 3 0 の下側で、閉鎖部材 2 1 側に向かって斜めに形成された傾斜スリット 3 1 と、アーム 2 6 の間に形成された鉛直スリット 3 2 と、で構成されている。傾斜スリット 3 1 に対応する部位には、曲がり部 3 5 が形成されていて、傾斜スリット 3 1 は、この曲がり部 3 5 の一で直線スリット 3 0 に対して傾斜し、アーム 2 6 の根元側が閉鎖部材側にずれてい

る。傾斜スリット31の先端は、胴部25の下端部まで延びている。一方、胴部25の外周部には、閉鎖部材21側に向かって突出する連結部材接続部28が形成されている。連結部材接続部28には、連結部材23が一体的につながれる。1対のアーム26の根元は、胴部25の下端部にて、傾斜スリット31を間に挟み、所定の間隔を空けて設けられている。1対のアーム26は、傾斜スリット31の溝幅と同じ間隔を空けて胴部25から下側に向かって延びている。傾斜スリット31の溝幅と同じ間隔を空けてなりアーム26の間に形成された部位は、鉛直スリット32である。1対のアーム26の先端には爪27がそれぞれ設けられ、各爪27は、アーム26を起点として反対側に向かってそれぞれ突出している。各爪27は、アーム26の先端側が先細りとなるようにテーパ状をなしている。

[0040] (連結部材)

連結部材23は、閉鎖部材21と取り付け部24とをつないでいる構成部であり、紐状又は帯状をなしている。連結部材23は、閉鎖ユニット20を射出成形によって製造する際に、閉鎖部材21及び取り付け部24と一体に成形される。その際、連結部材23の一端は、閉鎖部材21における詰め替え容器1の内側を向いている他面側（一端部A側）とは反対側の一面側（他端部B側）につながれる。また、連結部材23の他端は、取り付け部24の連結部材23取り付け部24につながれる。但し、閉鎖部材21と取り付け部24とは別々に成形し、一端を閉鎖部材21に取り付け、他端を取り付け部24に取り付けてもよい。

[0041] こうした連結部材23は、第1構成部23aと第2構成部23bとで構成されている。第1構成部23aは、連結部材接続部41から閉鎖部材21に向かって延びており、第2構成部23bは、第1構成部23aに対して屈曲し、第1構成部23aの先端から第1面に向かって延びている。

[0042] [閉鎖部材が開いた形態]

図5は、閉鎖部材21が開いた形態を示している。閉鎖部材21が開いた形態において、閉鎖部材21は、その取り付け部24側がノズル58によ

て支持される。具体的に、閉鎖部材 2 1 は、連結部材 2 3 が閉鎖部材 2 1 に連結された部位に対応する、第 1 面とは反対側の第 2 面が連結部材 2 3 により支持される。支持される領域は、閉鎖部材 2 1 に連結された部位に対応する一定領域である。閉鎖部材 2 1 が開いた形態において、閉鎖部材 2 1 は、被貼り合わせ部 1 5 の袋本体部 5 側の端面とのなす角度が 90 度よりも小さい形態に保持される。

[0043] 連結部材 2 3 の長さは、一定の長さに制限されている。具体的に、連結部材 2 3 の長さは、第 2 面をノズル 5 8 の外周面に接触させることが可能な範囲内に形成されている。こうした連結部材 2 3 は、閉鎖部材 2 1 をノズル 5 8 側に向かって付勢する付勢力を有している。すなわち、閉鎖部材 2 1 が開くと、連結部材 2 3 は閉鎖部材 2 1 が開く力に抗し、閉鎖部材 2 1 を閉じる方向に付勢する。その結果、閉鎖部材 2 1 は、ノズル 5 8 と連結部材 2 3 によって挟まれた状態となり、閉鎖部材 2 1 は、安定して開いた形態が維持される。

[0044] 連結部材 2 3 に付勢力を与える構成として次の構成を挙げることができる。すなわち、第 2 突起部 2 9 に連結部材接続部 2 8 を形成することである。連結部材接続部 2 8 は、取り付け部 2 4 における第 2 突起部 2 9 に形成されている。具体的に、連結部材接続部 2 8 は、第 2 突起部 2 9 から閉鎖部材 2 1 側に向かって張り出すようにして形成されている。そして、連結部材 2 3 は、その長手方向の一端が連結部材接続部 2 8 に接続され、他端が閉鎖部材 2 1 における第 1 面に接続されている。

以上に説明した詰め替え容器 1 は、以下に説明する包装容器 5 0 に内容物を注ぎ入れるために用いられる。包装容器 5 0 の構成を簡単に説明する。

[0045] [包装容器]

包装容器 5 0 は、詰め替え容器 1 に収容された内容物が補充される容器である。包装容器 5 0 は、例えば、樹脂等で構成される。図 6 は、包装容器 5 0 の一例を示している。図 6 に示した包装容器 5 0 は、取っ手 5 2 が設けられた容器本体 5 1 と、容器本体 5 1 に収容された内容物を注出するための注

出ユニット５５とで構成されている。この包装容器５０は、詰め替え容器１から移された内容物を必要なときに必要な量だけ包装容器５０から注出して用いられる。

[0046] 包装容器５０の注出ユニット５５は、本体部５６と本体部５６を開閉するためのキャップ５９とで構成されている。本体部５６は、図７に示すように、周壁面５７と、周壁面５７の内側に配置されたノズル５８とを備えている。周壁面５７は、筒状をなし、その内側は空洞になっている。

[0047] ノズル５８は、本体部５６の中央又は略中央の位置に配置されている。ノズル５８は、周壁面５７とつながれており周壁面５７と一体をなしている。ノズル５８は、本体部５６の上側に向かって突出し、その先端が、周壁面５７の上端よりも上側に位置するように構成されている。但し、図７は、ノズル５８の形状の１つの例を示しており、ノズル５８の形状は特に限定されない。

[0048] [詰め替え容器の内容物を包装容器に補充する手順及び注出スパウトの作用]

図８を参照し、詰め替え容器１に収容されている内容物を包装容器５０に補充する手順と、本実施形態の注出スパウト１０の作用について説明する。なお、図８は、注出ユニット５５の作用をわかりやすくするために、詰め替え容器１の袋本体部５及び包装容器５０の容器本体５１については、図示していない。ただし、注出スパウト１０は、図１に示した、詰め替え容器１に取り付けられ、注出ユニット５５は、図８に示した包装容器５０に設けられている。

[0049] まず、注出スパウト１０からキャップ６を取り外し、詰め替え容器１の上下を逆にして、詰め替え容器１の下側に注出スパウト１０を位置させる。注出スパウト１０の流路１８は、閉鎖部材２１により閉じられているので、詰め替え容器１に収容されている内容物がこぼれ出すことはない。また、包装容器５０の注出ユニット５５において、本体部５６からキャップ５９はあらかじめ取り外されている。

- [0050] 次に、図8（A）に示すように、注出スパウト10を、包装容器50の注出ユニット55の位置に一致させ、詰め替え容器1を押し下げて、注出ユニット55のノズル58を注出スパウト10の流路18に挿入させる。
- [0051] 詰め替え容器1を押し下げると、ノズル58の先端が閉鎖部材21を押し上げる。そのため、図8（B）に示すように、閉鎖部材21が流路18から取り外される。すなわち、閉鎖部材21は、流路18が延びる方向Lにおける一面側（他端部B側）から加えられる外力によって、閉鎖部材21の外周部が流路18の内周面に形成された溝から取り外される。
- [0052] 図8（B）に示すように、閉鎖部材21が開いた形態では、閉鎖部材21の取り付け部24側がノズル58の先端及び先端付近によって支持される。連結部材23の長さは、流路18を開いた形態において、閉鎖部材21の第2面をノズル58の外周面に接触させることが可能な範囲内に形成されている。そのため、閉鎖部材21の取り付け部24側が、ノズル58の先端よりも袋本体部5側に移動することが抑制され、閉鎖部材21がノズル58によって支持されないという状態を回避することができる。閉鎖部材21が開いた形態において、閉鎖部材21と被貼り合わせ部15の袋本体部側の端面とのなす角度は、90度よりも小さい形態に保持される。
- [0053] また、閉鎖部材21は、連結部材23によって、ノズル58側に付勢される。連結部材23は、連結部材接続部28から閉鎖部材21に向かって延びる第1構成部23aと、第1構成部23aに対して屈曲し、第1構成部23aの先端から第1面に向かって延びる第2構成部23bとで構成されている。また、被取り付け部40には第2突起部29が形成されており、第2突起部29には、閉鎖部材21側に向かって張り出す連結部材接続部28が形成されている。そして、連結部材23は、その長手方向の一端が連結部材接続部28に接続され、他端が閉鎖部材21における第1面に接続されている。
- [0054] 連結部材23及び連結部材接続部28が上記のように構成されているので、連結部材接続部28は、屈曲した連結部材23に付勢力を与え、開いた形態の閉鎖部材21をノズル58に押し付ける。そのため、閉鎖部材21は、

図 8（B）に示すように、開いた形態が保持される。

符号の説明

- [0055]
- 1 詰め替え容器
 - 2 平面部
 - 3 底面部
 - 4 折目
 - 5 袋本体部
 - 6 キャップ
 - 10 注出スパウト
 - 10A スパウト本体
 - 11 筒状部
 - 12 ねじ山
 - 15 被貼り合わせ部
 - 15A フランジ部
 - 16 張り出し部
 - 17 突出部
 - 18 流路
 - 19 ガイド
 - 20 閉鎖ユニット
 - 21 閉鎖部材
 - 22 第1突起部
 - 23 連結部材
 - 23a 第1構成部
 - 23b 第2構成部
 - 24 取り付け部
 - 25 胴部
 - 26 アーム
 - 27 爪

- 28 連結部材接続部
- 29 第2突起部
- 30, 31, 32 スリット
- 30 直線スリット
- 31 傾斜スリット
- 32 鉛直スリット
- 35 曲がり部
- 40 被取り付け部
- 41 第1孔
- 42 第2孔
- 43 肩部
- 50 包装容器
- 51 容器本体
- 52 取っ手
- 55 注出ユニット
- 56 本体部
- 57 周壁面
- 58 ノズル
- 59 キャップ

請求の範囲

- [請求項1] 詰め替え容器に設けられ、前記詰め替え容器に収容された内容物を包装容器に注出するための注出スパウトであって、
- 前記注出スパウトは、スパウト本体と閉鎖ユニットとを備え、
- 前記スパウト本体は、前記詰め替え容器を構成する袋本体部に貼り合わされる被貼り合わせ部と、前記内容物を注出する筒状部と、前記内容物を前記詰め替え容器の内部から外部に通すための流路とを、少なくとも備え、
- 前記閉鎖ユニットは、前記流路に対して開閉自在な閉鎖部材と、前記スパウト本体に前記閉鎖ユニットを着脱可能に取り付ける取り付け部と、前記閉鎖部材と前記取り付け部をつなぐ連結部材とを有し、
- 前記スパウト本体には、前記取り付け部が着脱可能に取り付けられる被取り付け部が形成され、
- 前記包装容器は、容器本体と、前記容器本体に収容された内容物を注出するための注出ユニットと、を備え、
- 前記注出ユニットは、内容物を注出するノズルを少なくとも有し、
- 前記連結部材は、前記閉鎖部材の前記取り付け部側であって、前記閉鎖部材が前記流路を閉鎖している形態において、前記袋本体側に向けられた第1面と、前記取り付け部材とを連結し、
- 前記閉鎖部材は、前記閉鎖部材の前記取り付け部側であって、前記第1面とは反対側の第2面における前記連結部材が、前記閉鎖部材に連結された部位に対応する一定領域が前記ノズルにより支持することによって、前記閉鎖部材が前記被貼り合わせ部の前記袋本体部側の端面とのなす角度が90度よりも小さく保持される、ことを特徴とする注出スパウト。
- [請求項2] 前記閉鎖部材が前記ノズルによって押し上げられて前記流路を開いた形態において、前記連結部材の長さが、前記第2面を前記ノズルの外周面に接触させることが可能な範囲内に形成されている、請求項1

に記載の注出スパウト。

[請求項3] 前記連結部材は、前記連結部材接続部から前記閉鎖部材に向かって延びる第1構成部と、前記第1構成部に対して屈曲し、前記第1構成部の先端から前記第1面に向かって延びる第2構成部とで構成され、

前記連結部材は、前記閉鎖部材を前記ノズル側に向かって付勢する付勢力を有する、請求項1又は2に記載の注出スパウト。

[請求項4] 前記被取り付け部には、前記閉鎖部材側に向かって張り出す連結部材接続部が形成され、

前記連結部材における長手方向の一端が前記連結部材接続部に接続され、他端が前記閉鎖部材における前記第1面に接続されている、請求項1～3のいずれか1項に記載の注出スパウト。